



社会福祉法人徳島県社会福祉事業団広報誌

第54号

令和8年8月20日発行



ノーマピック・スポーツ大会

令和8年4月25日～5月24日

記録会及び第25回全国障害者
スポーツ大会の選手選考会を兼ねて開催しました

発行



利用者支援を通じて笑顔あふれる施設づくりを推進します
社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

理事長挨拶

社会福祉法人徳島県社会福祉事業団

理事長 森口 浩徳

残暑お見舞い申し上げます。

厳しい暑さの毎日ですが、皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

令和8年度の事業団は、利用者の皆様方に質の高い福祉サービス等を安定的にお届けするため、14名の正規採用職員をお迎えし、234名の体制でスタートいたしました。

また、令和7年度の決算並びに事業報告につきましては、5月の理事会、6月の評議員会において承認をいただき、昨年度の資金収支差額は1億7,220万円のプラスと事業継続に向け、経営基盤の強化を進めることができました。

一方、中東地域での混乱円安基調による物価の上昇に加え、春闘の賃上げ率を踏まえた最低賃金の改定、さらには令和9年度からの障害福祉サービス報酬の改定など、事業団の経営を取り巻く様々な環境変化に対しては、職員の皆さんと力を合わせ前向きに取り組んで参りたいと考えています。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念いたしますとともに、事業団へのご支援とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

事業報告（主な取組）

希望の郷

- ・外部講師を招いた己書講座、芸術サークルの開催
- ・生活リハビリ 3,419 人実施
- ・多職種連携による口腔ケア月 200 回以上実施
- ・地域住民を招いた「さとまつり」の開催
- ・防災訓練及び警察署共催防犯訓練の実施

未来

- ・入所児童の増加への取組 月次平均利用者 50.8 名（前年対比 94.7%）
- ・高校生の退所後の進路支援
- ・高等部3年生全員の進路決定を実現

ワーク & デイ
ラクリエ

- ・ふらっとアート工房の開設
- ・中四国地区アーティストとの作品の共同制作
- ・地域スーパーでの野菜の販売
- ・「ふくっとマルシェ」の実施

ふらっと Café
（地域共生事業）

- ・子どもの居場所づくり 参加者 505 名 / 年
- ・子ども食堂 利用者 458 名 / 年
- ・ふらっと KOKUFU 4 周年感謝祭×国府町マルシェ with 未来フェス 参加総数 450 名

児童デイ
フラット未来

- ・就労体験を通じた社会参加意識の育成
- ・音楽療法コース大学生・教授による音楽療法の受講
- ・「みんなのはっぴょうかい」での表現活動の発表
- ・地域の子ども・保護者との共同制作

法人事務局

- ・新規職員 14 名の採用
- ・給与・諸手当の抜本的な見直し
- ・「徳島県がん検診受診促進事業所」への登録
- ・職員研修（ハラスメント防止・カスタマーハラスメント・メンタルヘルス等）の実施

相談支援事業所きぼう

- ・相談支援（特定相談・障害児相談・一般相談）2,004 件（前年度比 100.4%）
- ・徳島市障害者相談支援 7,781 件
- ・徳島市地域生活支援拠点整備事業 相談 33 件
- ・緊急時受入 1 件
- ・徳島市虐待防止センター等業務 通報・届出等 41 件

地域生活
定着支援センター

- ・コーディネート業務 12 件
- ・フォローアップ業務 15 件
- ・相談支援業務 57 件
- ・再犯防止相談窓口 46 件
- ・高齢・障害被疑者等支援 1 件

総合福祉センター

- ・貸館利用実績 6,628 件
- ・利用人数 67,660 名
- ・講座・イベントの実施
- ・防災・防犯フェア 参加者 56 名
- ・生涯健康フェア 参加者 50 名

視聴覚障がい者
支援センター

- ・生活訓練（視覚障がいリハビリ）996 名
- ・聴覚障がい者支援 手話通訳者派遣 1,893 件
- ・要約筆記者派遣 114 件
- ・ICT 技術活用事業 相談 311 件
- ・ICT サポーター派遣 98 件

ふらっとホーム・
希望ホーム

- ・地域移行支援の推進 一般就労 1 名、地域移行 1 名の実現
- ・第三者評価の受審
- ・夜間を想定した防災訓練の実施

障がい者交流センター

- ・貸館利用実績 3,008 件
- ・利用人数 31,838 名
- ・講座・イベントの実施
- ・ブラザ講座（料理・絵画・園芸等） 67 回 / 参加者 593 名
- ・夏休み小学生講座 6 回 / 参加者 139 名
- ・ブラザフェスタ 参加者 608 名

徳島県
パラスポーツ協会

- ・全国障害者スポーツ大会派遣 計 69 名
- ・ノーマビック・スポーツ大会 参加者 298 名
- ・パラスポーツ交流支援事業 参加者 200 名
- ・出張スポーツ教室 108 回（2,018 名）
- ・オンラインスポーツ教室 12 回
- ・パラアスリートの卵発掘 参加者 11 名

芸術・文化活動
支援センター

- ・相談支援 35 件
- ・講演会・ワークショップの開催（写真による表現 他 5 件）
- ・発表等の機会創出 T シャツデザイン展 応募数 794 点
- ・「障がい者アーティストの卵」発掘展 出品数 95 点
- ・カレンダー用イラスト 応募数 256 点
- ・みんなのはっぴょうかい 出演者 225 名

令和7年度
事業報告・決算報告

業務執行理事（人材育成担当） 挨拶

障害児入所施設 未来
施設長 麻植塚佳彦

この度、人材育成担当理事に就任いたしました。
当法人では、地域社会の中の一員として、やり遂げようとする強い意思や高い使命感を持って、多様化する福祉ニーズに対応できる資質と専門性・豊かな人間性を備えた人材を育成することとしています。

私たちを取り巻く環境は、日々変化し、求められる能力も多様化しています。その中で重要なことは、一人一人が自ら学び、挑戦し続ける姿勢です。

このため、学び続ける文化を育み、職員がその力を最大限に発揮できる環境を整えることで、組織の成長を確かなものにするともに、希望を持って未来をともに創るパートナーとして人材の育成・定着を進め、地域の方々がふらっと立ち寄れる拠点づくりに努めてまいりたいと考えております。

皆様のご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



事業活動計算書

(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日 (単位：千円)				
勘 定 科 目		R7年度決算額	前年度決算額	増減
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,578,218	1,566,546	11,672
	サービス活動費用	1,422,050	1,440,970	△ 18,920
	サービス活動増減差額	156,168	125,576	30,592
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	9,828	12,826	△ 2,998
	サービス活動外費用	1,579	3,066	△ 1,487
	サービス活動外増減差額	8,249	9,760	△ 1,511
経常増減差額		164,417	135,336	29,081
特別増減の部	特別収益	5,522	13,054	△ 7,532
	特別費用	6,831	3,768	3,063
	特別増減差額	△ 1,309	9,286	△ 10,595
当期活動増減差額		161,471	143,608	17,863
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,627,822	1,568,903	58,919
	次期繰越活動増減差額	1,786,015	1,627,822	158,193

サービス活動収益は、前年度比100.7%となっており、確実な収入の伸びを確保している。これは、未来の措置費収益やふらっとKOKUFUの就労支援事業収益等の増加が主な要因となっている。

一方、サービス活動費用は、前年度比98.6%となり、物価高騰や給与・諸手当改善を行った中、各事業所において効率的な予算執行に努め支出を抑えた。

「貸借対照表」の純資産の部を見ると、次期繰越活動増減差額は増加しており、安定した財務状態を維持している。また、その他の積立金として、施設における将来の大規模な改修等に備え、当年度も計画的な積み立てを行った。

貸借対照表

資 産 の 部				(令和8年3月31日現在) (単位：千円)			
資 産 の 部		負 債 の 部		資 産 の 部		負 債 の 部	
当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末
流動資産	944,111	773,804	170,307	流動負債	125,409	125,275	134
固定資産	2,468,279	2,527,298	△ 59,019	固定負債	130,173	143,884	△ 13,711
基本財産	1,692,217	1,715,936	△ 23,719	負債の部合計	255,583	269,160	△ 13,577
その他の固定資産	776,062	811,362	△ 35,300	純 資 産 の 部			
				基本金	10,000	10,000	0
				国庫補助金等特別積立金	775,022	811,627	△ 36,605
				その他の積立金	585,769	582,490	3,279
				次期繰越活動増減差額	1,786,015	1,627,822	158,193
				(うち当期活動増減差額)	161,471	143,608	17,863
				純資産の部合計	3,156,807	3,031,941	124,866
資産の部合計	3,412,390	3,301,102	111,288	負債及び純資産の部合計	3,412,390	3,301,102	111,288

苦情等の受付処理状況

【苦情等の受付処理状況】				
区分	項目	苦 情	意見・要望	合 計
保 護 者 利 用 者 地 域・その他 合 計	保 護 者	11	3	14
	利 用 者	13	10	23
	地 域・その他	6	4	10
	合 計	30	17	47

・苦情内容はすべて解決済みであること。

「令和8年度 ノーマピック・スポーツ大会」開催

令和8年度 ノーマピック・スポーツ大会を令和8年4月25日(土) 5月24日(日)に開催しました。

この大会は令和8年10月23日(金) 26日(月)に青森県で開催される、第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおり障スポ」の個人競技出場選手の選考会を兼ねて開催しました。全7競技に285名の参加がありました。



卓球



ボウリング



陸上



サウンドテーブルテニス



フライングディスク



ボッチャ

今後の予定とイベントのお知らせ

○令和8年10月23日(金) 26日(月)
第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおり障スポ」(青森県で開催)

ノーマピック・スポーツ大会で選考された個人競技出場選手22名が参加します。(陸上、水泳、アーチェリー、卓球、サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ボウリング、ボッチャに出場。)

○令和9年1月31日(日)

2027 頑張るんじょ!とくしま
パラスポーツフェスティバル
今年度、徳島県パラスポーツ協会は設立10周年を迎え、「2027 頑張るんじょ!とくしまパラスポーツフェスティバル」で10周年記念事業を開催します。

このイベントは、パラスポーツを通じた交流促進とパラスポーツの理解促進・普及啓発を図る目的として、開催するパラスポーツイベントです。年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽に参加でき、様々な種類のパラスポーツを楽しむことができる体験会を開催予定です。



利用者様が参加される行事は、地域の皆様や外部企業様の温かいご支援のもとで開催されております。

その一部をここに紹介いたします。

お買い物支援サービス

「しまサポ」

4月16日、希望の郷で「しまむら」の出張販売「しまサポ」が開催されました。入所者が買物を楽しむための移動販売サービスです。会場には豊富な衣類、寝具、キャラクター商品が並び、参加者はカゴを手にじっくりと品定めを楽しみました。お目当ての品を嬉しそうに抱え、笑顔でレジに並ぶ姿が見られるなど、終始大にぎわいで活気あふれるひとときとなりました。次回は10月初旬頃に開催予定です。



福祉ネイル

希望の郷では毎月2名の福祉ネイルリストをお招きし、障害のある方に向けた「福祉ネイル」を実施しています。これは単なる美容目的だけでなく、施術中の会話を通じて入所者のストレス発散や心のケアを行うものです。福祉の場に美容を届ける試みは、利用者様にも大変好評です。

ネイルリスト石田様よりコメントを頂きました。県内でも徐々に広がりを見せる福祉ネイル。その先駆けとなつたのが希望の郷様です。利用者様だけでなく職員様にも温かく迎えていただき、今では男女問わず多くの方がネイルの日を楽しみにしてくださっています。毎月、福祉ネイルを通して利用者様の穏やかな笑顔に囲まれて、交流の時間ができていることをうれしく思います。



ドッグセラピー

当施設ではQOL向上のため、毎月第3水曜日にボランティアドッグ育成センターをお招きし、「ドッグセラピー」を実施しています。犬との触れ合いは心身の安定や癒しをもたらす、多くの利用者様が穏やかな笑顔を見せる大変好評な活動です。

また、犬を囲むことで自然な会話が生まれ、利用者様同士や職員との交流を広げるきっかけにもなっています。

今や犬たちは施設に欠かせない大切なパートナーです。





児童デイ フラット未来

『遊びを通して育つ力を大切に。作業療法士による支援が始まります。』

児童デイでは今年度より、作業療法士が新たに加わり、支援体制がさらに充実しています。姿勢や身体の使い方、手先の操作、感覚など、子どもたちの日常生活や遊び等を支援し、子ども本人や保護者の方のニーズを基に、個別や小集団での活動に取り組んでいます。SST（ソーシャルスキルトレーニング）では、ゲームを通して友達とやり取りしたり、ロールプレイで困った場面の解決方法を練習したりし、楽しい雰囲気の中で活動しています。また、製作活動では、本人に合った内容やペースで取り組むことで、子どもたちは「製作、楽しくなってきたかも!」と、嬉しそうに話してくれます。専門的な視点を取り入れながら、苦手を楽しさに変え、得意をさらに伸ばし、将来に向けてできることが増えるよう、一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでいます。



地域共生委員会

『地域の子どもたちとともに』

地域共生委員会では、将来を担う地域の子どもたちが放課後等に「ふらっと」立ち寄れる居場所づくりに努めています。障がい者と健常者が同じ空間で自然体で過ごせる場所を提供しています。また毎月、子ども食堂を開



催し、毎回30名以上の家族が夕食のひと時を過ごしています。大学生ボランティアも増えて、今後は防災を意識した炊き出し夕食や食育事業等も計画しています。

相談支援事業所きぼう

『もっと寄り添い、もっと身近に。相談員が6名体制に機能強化しました!』

相談支援事業所きぼうは、皆さまの日々の暮らしの中で生まれる「困ったな」「どうしよう」に寄り添い、一緒に解決の道を考える場所です。ありがたいことに、近年は本当に多くのご相談をいただくようになり、お待たせしてしまう時間や、もっとじっくりお話を伺いたいと感じる場面が増えておりました。

そこで、「もっと手厚く、もっとタイムリーに皆さまを支えたい」という想いから、このたび新たな相談員を配置し、総勢6名の新体制としてスタートを切ることで、今まで以上にフットワーク軽く皆さまのもとへ駆けつけ、一人ひとりの想いに寄り添ったきめ細やかなサポートをお届けできるようになりました。「こんなこと、

わざわざ相談してもいいのかな?」と思うような小さな不安や疑問でも大歓迎です。新しくなった6名の笑顔のチームで、皆さまからのご相談を心よりお待ちしております。

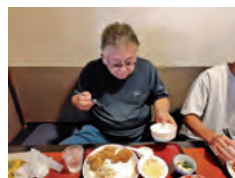


ふらっとホーム&希望ホーム

『楽しい行事アソート♪』

ふらっとホーム・希望ホームでは、年4回程度、利用者様の要望や希望等を聞きながら、外食や外出行事を計画しています。今回は、その中の一部を紹介させていただきます。特に外食行事は大人気で、計画の段階から、利用者様に参加してもらい、「あれが食べたい、あの店に行こう」と和気藹藹とした雰囲気の話し合いの中で、様々な意見が飛び交い、その中から数ヶ所に絞り、最後は、利用者様による多数決により決めていきます。楽しい話し合いで決まったこともあり、外食や行事に参加した際も、ニコニコとした表情で、美味しそうに食事をしたり、行事にも喜んで参加をしたりしています。

特に、外食や行事の写真の中には、利用者様の溢れる笑顔が見られます。どうですか、皆さん、とても楽しく食事をしている雰囲気が伝わってきますか、最高の笑顔でしょう。(笑)



ワーク&デイ ラクコエ

『日中活動について』

ワーク&デイ ラクリエ生活介護では、専門職プログラムやソーシャルサーカスの講習等、様々な日中活動を行い、利用者様それぞれに合った支援を行っています。昨年、オープンしました「ふらっとアート工房」では、落ち着いた雰囲気の中で、集中してアート活動に取り組めることもあり、たくさんの方の素晴らしい作品が生み出されています。利用者様もアート工房に行くことを楽しみにされています。



『農福連携イベントふらっとマルシェ』

今年度第1回目のマルシェを開催しました。利用者様が丹精込めて育てた野菜は収穫後ファームで土を丁寧に拭き取り、袋詰め加工して出荷しています。今回も様々な野菜を店頭販売して多くのお客様にお買い上げいただきました。マルシェを通して様々なお客様と接する機会を得ることで利用者様の社会参加を促進するとともに、広く社会に対し障がいについて理解していただける貴重な機会となっています。多くの方々のご協力をいただき開催できている感謝を忘れず、これからも農福連携につながる取り組みを行っていきたいと思います。



徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター

「AIR-in ふらっとアート工房」 「世界と出会う、表現でつながる」開催

令和8年4月23日（木）、神山アーティストインレジデンス実行委員会にご協力頂き、ふらっとアート工房にて開催しました。障がい者施設「ワーク&デイ ラクリエ」の利用者9名の方々が、イングランドよりお招きした、2名のアーティストから説明を受けた後、粘土を使ったアート作品の制作に取り組みました。

午前の部「自分の顔を作ろう」では、アーティストが鮎喰川で採取した自然石を基底材にし、粘土をかぶせ、自分の顔を鏡で確認しながら、細かく分けた粘土で眼、鼻、口を作成し表現しました。

午後の部「花を咲かそう」では、薄く伸ばした粘土を花びらに見立て、手の平サイズのお皿の上に思い



思いの花を表現しました。

参加者からは「顔を作るのが楽しかった」、「こねるのが大変でした」、「初めて外国の方と交流できて嬉しかった」などの感想をいただきました。海外のアーティストとのふれあいの中で、異文化に対する理解や美術に対する知識を学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。

制作された作品は、2人のアーティストによって1つの作品にまとめられ、ふらっとアート工房やふらっとKOKUFUの玄関ホールで展示の予定です。他にも、2月開催予定の「みんなの創造フェスタ」の会場でも展示します。どんな作品に仕上がるのかワクワクしますね。お楽しみに！



未来では、五十名を超える子どもたちと賑やかな日々を過ごしており、一年を通して四季折々に楽しい行事を行っています。

六月には、BBQを行いました。

炭火で焼いたお肉は、あつと言う間に食べ盛りの子どもの胃袋へ：焼いても焼いても、すぐになくなってしまいました。子どもたちも一生懸命にお手伝いをしてくれました。

七月に入り、すいか割りをして楽しみました。そして、待ちに待った夏休み！夏季レクリエーションでプール遊びを計画中です。長い長い夏休み、何して遊ぶかなと子どもたちも職員もワクワクです。ひまわりのような子どもたちの笑顔がたくさん咲かせられるよう職員は今日も頑張っています。

～四季の景色を感じて～障がい者交流プラザより～



障がい者交流プラザ

交流プラザでは、ロビーで季節の雰囲気を楽しんでいただいています。ひな祭り・端午の節句・七夕ではご来館者様にも、願い事や絵を描いていただき、笑顔あふれる交流の場が生まれています。

9/23(水・祝)には交流プラザフェスタを開催します。多彩な催しを実施しますので、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

点訳奉仕員養成事業について ―言葉は「おうちでボランティア」

視聴覚障がい者支援センター

視聴覚障がい者支援センターでは、視覚障がい者の読書環境の充実のため、点訳作業の担い手の育成を目的とし、点訳奉仕員養成講座を実施しております。

一昨年度までは、集合対面型での講座でしたが、より幅広い方にご受講いただけるように昨年度より「点訳奉仕員養成通信講座」として実施しております。自宅受講できることから、遠方の方や仕事の都合で通うのが難しかった現役世代の方も受講しやすくなるのではないかと考えたためです。

実際に、通信型に変更となり、2年目の今年度は、県西部や県南部にお住まいの方や出張の多いお仕事に従事されている方、学生など、定員を超える多くのお問合せをいただきました。

講座の内容としましては、テキストを基に学習し、課題を提出していただき、添削して返送する流れです。

「基礎コース」では点字器を使用して、「応用コース」ではパソコン点訳で、点訳について学習します。基礎・応用の両コースを修了した方が、点訳奉仕員として県に登録されます。集合対面型と違い、お一人で学



習されるということもあり、不安に思われる方もいらっしゃるかと思います。メールや郵便などで質問等をお伺いし、また添削時のやり取りなどで、お会い出来ない分のコミュニケーションを補えればと考えております。

今後も当センターでは、少しでも多くの図書を利用者の皆様へ届けられるよう、点訳ボランティアの人材確保・育成に向け、より良い点訳奉仕員養成を目指し、取り組んでまいります。

徳島県地域生活定着支援センター

地域の支援力強化に向けて 連携会議が開催されました

令和8年5月、被疑者等支援業務(入口支援)の推進に向けて、徳島地方検察庁、徳島弁護士会、徳島保護観察所、徳島県、徳島県地域生活定着支援センターが一堂に会し、「被疑者等支援業務連携会議」が開催されました。

入口支援は、刑事司法手続の入口段階にある被疑者・被告人のうち、高齢・障害、生活困窮などの課題を抱える方が、釈放後ただちに地域の福祉支援につながるよう調整を行う、極めて重要な支援です。

司法と福祉の連携による再犯防止の推進が全国的な課題となっており、本県の入口支援の質の向上と地域の支援力強化に向け、今後とも関係機関とともに取り組みを進めてまいります。



フレッシュマン紹介

① 職名 ② 抱負・コメント

法人事務局

川人久範



- ① 次長
② 県からの派遣で4月に着任しました。微力ながら精一杯努めますので、よろしく願います。

希望の郷

榎谷 仁



- ① 支援員
② 4月から正規職員となりました。丁寧な支援を信条に得意な音楽も活かして頑張ります。

関瀬啓子



- ① 支援員
② 利用者さんと共に笑顔で毎日過ごしていきたいと思います。よろしく願います。

細井拓也



- ① 支援員
② 利用者個々の特性に応じた支援を展開できるようしっかり頑張ります。よろしく願います。

松吉愛莉



- ① 支援員
② 利用者さんに寄り添い、暮らしを支えられる職員になれるよう精進します。よろしく願います。

松原愛樺



- ① 支援員
② 利用者さんが毎日を明るく楽しく過ごせるよう、支援を頑張ります。よろしく願います。

板東貴実子



- ① 支援員
② 今年度より、入職しました。利用者の心に寄り添った暖かい支援を心掛けて頑張ります。

西坂 悠



- ① 臨時支援員
② 6月より入職しました。先輩方のご指導のもと研鑽を積み、利用者様の支援に尽力いたします。

未来

近藤里歩



- ① 保育士
② 子どもへの可愛い！という気持ちを大切にして、子どもたちと一緒に過ごしていきたいと思います。

北原僚大



- ① 保育士
② 今年度より保育士としてお世話になります。学びと挑戦を大切にし、日々成長を目指しています。

清水健斗



- ① 児童支援員
② まだまだ至らぬ点も多いですが、一日でも早く職場の戦力になれるよう努めていきたいと思います。

大下仁志



- ① 児童支援員
② 一人ひとり寄り添い支援をしながら、自分自身の成長に繋げられる様に頑張っていきたいと思います。

フラット未来

石槌沙奈枝



- ① 作業療法士
② 子ども達やご家族様の力になりたいです。気になる事があればなんでも相談してください。

安治川逸聖



- ① パート職員
② 大学で学んでいる音楽療法を活かし、子どもたちに寄り添った支援ができるよう頑張ります。

視聴覚障がい者支援センター

美吉克春



- ① 所長
② フレッシュマンとは気恥ずかしい限りですが、心機一転、頑張りますのでよろしく願います。

村上 舞



- ① 支援員
② 利用される方の日々の暮らしを想像しながら一生懸命取り組みたいです。よろしく願います。



近藤春子

① ICT支援専門員
② 日々知識を蓄え、利用者様のお役に立てるよう頑張ります。よろしく
お願いいたします。



石川百香

① 支援員
② 芸術や文化活動を通じて一人ひとりの世界を広げられるよう、日々学びながら頑張っています。

徳島県パラスポーツ協会

徳永 誠

① パラスポーツ専門員
② 年齢的には、フレッシユマンではありませんが、日々「インクルーシブ」の実践にがんばっています。



退職者・異動者紹介

退職辞令交付

希望の郷 支援員 林 公博(再雇用)

相談支援事業所きぼう

係長 山口 美樹

異動者

異動前所属…異動後所属

ラクリエ…事務局

松岡 陽子

視聴覚障がい者支援センター…障がい者交流センター

平田 清美

障がい者芸術・文化活動支援センター…視聴覚障がい者支援センター

漆原 薫

視聴覚障がい者支援センター…障がい者芸術・文化活動支援センター

木村 和美

未来…希望の郷

野田 美奈

ラクリエ…希望の郷

渡辺 水葉

ラクリエ…希望の郷

蔭山 麻優

希望の郷…未来

井川 紗里



退職辞令交付式



新任職員研修

ラクリエ…相談支援事業所きぼう

高橋 和孝

希望の郷…ラクリエ

井内 弘記

希望の郷…ラクリエ

山本 晏瞳

ラクリエ…ふらっとホーム・希望ホーム

富永 浩治

希望の郷…相談支援事業所きぼう

田中 友恵

ペンの樗



人にはそれぞれ、自分にしかできない役目があると感じています。ワーク&デイ ラクリエで看護師として勤務し、利用者さんがその方らしく毎日を過ごせる様、健康面からサポートする事を自分の役目だと思っています。日々の関わりの中では、病気や障がいだけを見るのではなく、表情の変化やいつもと違う小さなサインに気づけるよう心掛けています。また多職種スタッフと連携し「安心して過ごせる場所」を一緒に作っていく事を大切にしています。最近は職場全体の安全や健康づくり、労働衛生にも関心を持ち、勉強にも取り組んでいます。学んだ事を利用者さんだけでなく、一緒に働く仲間の支えにも繋げていきたいと考えています。これからも、ここで出会う一人ひとりに寄り添いながら、自分にしかできない役目を丁寧に果たしていきます。

ワーク&デイ ラクリエ

主任看護師 犬伏 有美



題字デザイン者 南 愛鈴さんインタビュー



🌸 テーマ「花」 🌸

◎表題に選ばれた感想は？

嬉しい。

◎この作品を描くのに大変だったところはあるか？

色を決めるところ

◎絵を描いたり、作品を作ったりすることは好きですか？

好き。特にキャラクターを描くのが好き。

◎どんな時に絵を描いたり、作品作りをしますか？

思いついたとき。

◎次はどんなものを作品にしたいですか？

もっと細かい花

職員インタビュー

谷 真知子

(ふらっとホーム 世話人)

Q1 今の仕事を選んだ理由は？

A 私のこれまでの経験を活かし、利用者様の生活支援ができれば、と思ったから。

Q2 今の仕事で楽しいと思うのは

どんな時ですか？

A 利用者様の自立支援をする中で、心からの自然な笑顔が増えた時。

Q3 没頭している趣味は？

A パワーストーン(隕石や天然石)を買って眺めたり、触れたりすることで、日々癒されています。

Q4 幸せを感じる瞬間は？

A 家族や友人との食事やおしゃべりをして過ごす時間。



田村 遥果

(視聴覚障がい者支援センター 支援員)

Q1 今の仕事を選んだ理由は？

A 自身の経験を生かし、視覚障害者の心理支援に携わりたかったため。

Q2 今の仕事で楽しいと思うのは

どんな時ですか？

A 利用者さんの笑顔や前向きな変化を感じた時。

Q3 好きな休日の過ごし方は？

A 家で何もしないで過ごす。

Q4 幸せを感じる瞬間は？

A 眠っているとき。

